

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

News Release

NTT東日本グループ

2025年10月15日
株式会社いのちとぶんか社
NTT東日本株式会社 福島支店

浪江に響け、共助の鼓動

～福島県浪江町をフィールドにした和太鼓でつながる関係人口創出プロジェクト開始～

NTT 東日本株式会社 福島支店(支店長:大橋 真孝、以下 NTT 東日本福島支店)は、株式会社いのちとぶんか社(代表取締役社長:葛西 啓之、以下 いのちとぶんか社)とともに、福島県浪江町にて、地域で活動する文化コミュニティを入り口として地域外からの訪問者を受け入れ、将来的な広域共助コミュニティの在り方を考える「和太鼓でつながる浪江町プロジェクト」を開始します。

記

1. プロジェクトの背景・目的

福島県浪江町は、震災および原発事故により全町避難を余儀なくされ、現在も復興の途上にあります。震災前は約21,000人だった人口は約2,000人にまで減少しました。近年では移住者が増えつつある一方で、少子高齢化や担い手不足など、地域の持続可能性に関する課題が顕在化しています。

本プロジェクトでは、浪江町で活動する太鼓チームとの交流を軸に、福島県外在住者と地域住民が継続的に関わり合い、地域の歴史や文化、そして太鼓を通じた一体感を共有することで、広域的に地域を支えるコミュニティの形成を目指します。

太鼓は、浪江町の祭りや地域行事で演奏される伝統芸能であり、震災後、住民と移住者が協力して町を盛り上げようとする中で生まれた取り組みの一つです。本プロジェクトを通じて、新たな担い手や応援者を呼び込み、浪江に愛着を持つ人を増やすことで、広域的に町を支えるコミュニティを育み、持続可能なまちづくりと防災力の強化を図ります。

なお、本プロジェクトには、地域活性化や関係人口創出の研究を実践するNTT 東日本のシンクタンク「地域循環型ミライ研究所」が参画しています。また、県外在住のNTT 東日本社員が社内副業として浪江町を訪問し、太鼓の練習などの活動に参加します。参加者は継続的に地域住民と交流し、防災やまちづくり等における地域課題の発見や解決に共に取り組みます。こうした活動を通じて、地域の未来をともに考え、支え合う新しいコミュニティのあり方を模索していきます。

2. プロジェクトの特徴

- ・ 地域芸能(太鼓)を通じたコミュニティ形成・広域共助の在り方の検討
- ・ 県外居住者の複数回の現地訪問・太鼓練習による地域住民との継続的な交流
- ・ 地域リーダー・起業家・社外有識者との対話・学び
- ・ まちづくりや地域活性化に向けたアイデア創出

3. 実施概要

- 初回訪問 :10月18日(土)~10月19日(日) 町内視察・太鼓練習・懇親会
- 2回目訪問 :11月22日(土)~11月23日(日) 文化体験・太鼓練習・地域での交流
- 3回目訪問 :1月30日(金)~1月31日(土) 共創活動・太鼓練習・地域での交流
- 浪音単独公演:2月27日(金)~2月28日(土) 単独公演サポート・出演
- 振り返り会 :3月で検討中 広域共助について考える
※地域住民との対面交流や共創活動を通じて顔の見える関係を築くことをめざします
※太鼓の練習は東京やリモートでも開催する場合があります

4. 開催者

- いのちとぶんか社

和太鼓を軸に日本文化で社会課題の解決を目指す企業で、文化事業や防災事業、イベント制作、まちづくりなどを幅広く展開、浪音の太鼓指導も実施しています。

- NTT 東日本グループ

NTT 東日本グループは、現場第一線で活動する社員の地域密着力を活かし「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として、ICTソリューションの提供にとどまらず、地域課題の解決や価値創造、地域活性化に取り組んでいます。

福島県浪江町においても、以下のような多様な分野で創造的復興に貢献しています。

- ・「なみえ水素タウン構想」への参画(浪江町水素関連事業者等連絡会への参画)
- ・福島国際研究教育機構(F-REI)との連携による「福島イノベーション・コースト構想」の推進(研究開発・産業化・人材育成の加速)

地域循環型ミライ研究所は、パーパスである「地域循環型社会の共創」の実現に向け活動する NTT 東日本の社内 Think&Do タンクです。

【本報道発表に関するお問い合わせ先】

NTT 東日本 福島支店 広報担当

川辺・唯木 fuku_kisou2-gm@east.ntt.co.jp